“living our dream” Tour in the U.S.A

アドベンチャーライダー jasmine T Cardwell の

PHOTO&TEXT／jasmine T Cardwell

本名：**晃良** [テルミ] Cardwell（36歳）
出身:愛知県豊橋市
特技:サーフィン、ゴルフ、武道（剣道二段、居合道四段、杖道参段→武道をやっていた経歴より、侍ライダーを名乗っています。）
バイク:BMW F650GS
www.samurai-rider.com
jasmine@samurai-rider.com

秋も深まり、紅葉が美しい季節がやってきましたね。今年の日本は残暑が例年以上に厳しかったようですが、体調など崩されていませんか？　現在マイケルとjasmineは、東海岸にいます。東海岸は日本と同じく四季があるので、アメリカの“秋”を満喫しています！

=Get Your Kicks On “Route 66”= part1

1926年11月11日からアメリカの発展を支えるために大変重要な役割を果たした、中南西部を結ぶ国道がR66でした。国の発展と共に新しく便の良い高速道路が次々とでき始め、1985年6月27日に廃線しました。しかし廃線後も、Historic Route 66 (National Scenic Byway=国定景観街道)として、今も世界中から訪れる観光客を魅了し続けています。

R66の発祥となった道路は、MO州のセントルイスとスプリングフィールドから少し南西に位置するジョプリンという小さな町までを、東西に結ぶ約320マイル（約512km）の道でした。交通量は日がたつにつれ増えていき、未開拓だった土地や道路は次第に開拓・舗装され、西へと少しずつ道が繋がって行きます。小さな田舎町は道路の開発に伴い次第に栄えて行き、国家の成長へと反映していきます。部分的に出来上がっていった道路を最終的に全て繋げ、1930年代遂に東西を結ぶ唯一の国道として完成したわけです。現在に至るまでの間に何度もルートが検討・変更され、「19○○年～19○○年の間のR66はここで、現在はここですよ」、というルート変更を示すサインが数多く見られました。

MO：現在のルートは右へ、1947年から1975年までのルートは直進というサインです。小さな田舎町に、このようなルート変更のサインが多く見られました

R66界隈には栄えた時代を生き、見守り続けてきた人々が、昔と変わらず今もその場所で永眠しており、墓地が驚くほど数多く存在します。また刑務所も点在し、現在も使用されているところもありました。閑散としていて、少し怖さを感じたりするほどでした。さてここからは、各州ごとにR66の魅力に迫ります。

IL：R66全長301マイル（約484km）

主な経由地:シカゴ、ポンティアック、ブルーミングトン、リンカーン、スプリング・フィールド

前回号で紹介した大都会、シカゴの街のど真ん中からR66はスタートしています。軽快にスタートした矢先、ほんの３ブロックスも進んでいない時点で工事中のため迂回を余儀なくされ、テンション下がりまし

IL：いよいよ長い長い道のりのスタートです！

♪～Now you go through Saint Looey, Joplin Missouri, Oklahoma city looks mighty pretty ♪ You'll see Amarillo and Gallup, New Mexico～♪ Flagstaff, Arizona Don't forget Winona Kingman, Barstow, San Bernadino～♪

ルート66（以下R66）を走れば、立ち寄ったカフェやレストランで一度は絶対に耳にする「Get Your Kicks On」。1946年にボビー・トゥループが作詞・作曲を手がけた名曲で、今日でも多くのアーティストによってカバーされています。

今回から2回に渡り、誰もがその言葉を耳にしたことがあり、そして一度は訪れてみたいと願うアメリカのマザーロード、R66を紹介していきたいと思います。

私がバイクの免許を取って間もない頃、R66をいつか走ってみたい…、という漠然とした夢が芽生えました。そして、その夢が実現した2012年7月。東海岸は相変わらず強烈な湿気で、日中の気温は摂氏40度以上。体感温度はさらに高く息苦しい日々が続く中、旅の終盤の体力を振り絞り、約２週間かけてゆっくりとアメリカ大陸を東から西へ、R66を辿っていきました。"R66＝アメリカの有名な道路"ということしか知らなかった私ですが、実際に走ってみて現状を目の当たりにすると、人々を魅了する理由が分かった気がします。数年前ジャニーズの山下智久さんが、R66を車で横断したことは記憶に新しいのではないでしょうか？　聞いたことはあるけれど、実際は知らないことだらけのR66…。ちょっとした歴史的背景の説明を絡め、写真と共に今回は前半の4州を紐解いていきましょう！

The Mother Road…R66。それはアメリカの旧国道で、8州をまたぎ現在では全長2,448マイル（約3,940km）に及びます。始まりは東海岸イリノイ州（以下IL）シカゴで、続くミズーリ州（以下MO）、カンザス州（以下KS）、オクラホマ州（以下OK）、テキサス州、ニューメキシコ州、アリゾナ州、そして西海岸カリフォルニア州はロサンゼルスのサンタモニカが終着地点です。

IL：田舎町に残るR66の壁画や、現在は使用されていませんが、観賞用に地元の方が大切に保管している旧ガソリンスタンドなど

IL州は、エイブラハム・リンカーン大統領の州と言っても過言ではない程、至る所で彼のモニュメント等が見られます。９月号で紹介した南北戦争による奴隷制解放など、リンカーン大統領は非常に多くの偉業を成し遂げた歴史上の人物で、彼の眠るお墓はオークリッジ・スプリングフィールドにあります。ここは非常に厳粛な場所で、館内は脱帽が義務付けられており、奇声を発したり子供が騒いだりなどはもっての外。（にも拘わらず、私とマイケルのライディングブーツは歩くたびきしみ音を立てまくり、恥ずかしい思いをしました。）彼の墓地を含む彼にまつわる多くの場所は、現在「リンカーン家国立歴史館」として人々にその偉業が伝え続けられています。

MO：R66全長317マイル（約510Km）

主な経由地:セントルイス、スプリングフィールド、ジョプリン

さてMOに入りました。ILとの州境に栄えるセントルイスからMO州のR66がスタートし、現在の国道44号と平行して南西に向かってルートが延びています。

セントルイスに入るとすぐに目に入ってくるのは、ステンレス・スチールで作られたアーチでは世界一の高さ（192m）を誇る、ゲートウェイ・アーチです。国立公園に指定されており、ここには博物館（ジェファーソン・ナショナル・エクスパンション・メモリアル）も併設されています。

アメリカが東から西へ開拓されていく最中、ここは東への玄関口とされこの場所を堺に、西には未開拓の土地が広がっているということを示唆する場所でした。1963年に着工し、1965年に完成しました。

アーチの頂上デッキまでは、狭い5人乗りの卵形トラムに約4分乗ります。デッキもこれまた狭い…。長身の人は頭をぶつけてしまうほどの高さしかなく、心地よい空間ではありません。閉所恐怖症の人には絶対にお勧めできないアトラクション…。

MO：セント・ルイスのゲートウェイ・アーチ。頂上デッキからは州都セント・ルイスのダウンタウンを一望できます

セントルイスから約125マイル（約200km）のセントロパートから、丁度北に約50マイルの位置に、州のほぼ中央に位置する州都のジェファーソン・シティーがあます。そこからさらに南西下し、MO州のスプリングフィールドを経由、次の州境付近のジョプリンという町でMO州のR66が終わります。

MO：これが正真正銘のR66です。この旧道と並行して走る新しい道が現在使用されています

ちなみにMO州は、鍾乳洞が最もたくさんある州としても有名。R66界隈だけでも6～7か所の鍾乳洞スポットがあり、道路沿いには看板が掲げられています。今回は2か所に行くことができました。

MO：　ここはミラマック鍾乳洞です。鍾乳洞の宝庫です！

KS：R66全長13マイル（約21km）

KS州滞在時間、約20分！　あっという間にKS州を横切り、次の州に入ります。何だかとっても物足りないままKS州を後に…。KS州の州都はトピカで、MO州との州境にあるカンザスシティーから約50マイル（約80km）西に位置しています。映画のCarsでモデルとなった車達は、ここR66にありました。この先の州でも沢山お目見えしました。

KS：今でも綺麗に整備されているカンザス州のR66

KS：カーズのモデルになったTow Mater君、ここに実物が健在していました!!

OK：R66全長432マイル（695km）

主な経由地:タルサ、オクラホマシティー、エル・レノ、クリントン、エルクシティー

OK州から一気に乾燥地帯に入ります。そうです、私の苦手とする過激な暑さと強風地域であるグレートプレーンズ地帯に突入です。砂漠地帯を象徴する大地は赤土で、レンガ作りの風情の残る建物が多く存在しています。州都はオクラホマシティーで、州のほぼ中央に位置しています。

OK：各州やさらに小さな町にも、R66博物館がたくさん存在します

OK：1970～1988年までプールとして使用されていた、R66の名所跡地 Blue Whale

現在はオクラホマシティ国立慰霊博物館として保存されており、その爆破に耐え生き延びた一本の木を、「Survivor Tree」として崇めてあります。また犠牲者達は、博物館ビルの隣に作られた立派な慰霊公園に眠っています。日本からは平和を願い、折り鶴が寄贈され黄金の鶴が飾られている場所がありました。アメリカの歴史上、9.11テロが起こる以前は、国内で最も最悪なテロ事件とされていました。

来週はいよいよ最終回です！　R66の後半を紹介します！
“living our dream, living my journey” I will see you next month!